

## 第1回 丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会

### 1) 開催日時

令和4年6月29日(水)

14:00~15:00

### 2) 開催場所

丸森町役場 302 会議室



### 3) 出席者

団体名	所属等	氏名	備考
東北大学	教養教育院 総長特命教授	田中 仁	委員長
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	平野 勝也	
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	柴山 明寛	欠席
国土交通省東北地方整備局	仙台河川国道事務所副所長	平舘 淳一	
国土交通省東北地方整備局	宮城南部復興事務所副所長	斎藤 巧	
宮城県	大河原土木事務所副所長	高野 晃	
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭	
丸森町商工会	副会長	船山 俊一	代理出席
丸森町消防団	団長	佐野 昭一	
丸森地区協議会	会長	岡崎 俊範	
丸森町役場	副町長	佐々木 秀之	副委員長
〃	総務課長	大内 一郎	
〃	企画財政課長	長門 修	
〃	復興対策室長	佐藤 徳和	
〃	建設課長	八巻 一浩	
〃	農林課長	引地 誠	
〃	商工観光課長	宍戸 光晴	

### 4) 議事次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 概要説明

・丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会の設置要綱について

- 4 委員長選出及び副委員長の指名

## 5 検討事項

- (1) 検討委員会に関する公開方法について
- (2) 丸森地区河川防災ステーション最終案について
- (3) 丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会の設置について
- (4) その他

## 6 閉 会

### 5) 配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料-1 配席図
- ・ 資料-2 名簿
- ・ 資料-3 丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会設置要綱
- ・ 資料-4 丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会に関する公開方法
- ・ 資料-5 河川防災ステーション配置計画説明資料
- ・ 資料-6 丸森地区河川防災ステーション施設配置（最終）

### 6) 協議結果

#### 1 委員長の選出及び副委員長の指名

田中委員を委員長に選出

副委員長に丸森町佐々木副町長を指名

#### 2 検討事項

##### 舟下りの拠点位置について

(主な意見)

- ・ 河川防災ステーションの利活用と合わせて、町全体の復興・振興を検討する必要がある
- ・ 舟下りの拠点施設について、昨年、球磨川くだりを再興した瀬崎氏と現地を回った際に、阿武隈川の風景や鉄道駅からの距離から現位置での再建を提言されており、現位置と河川防災ステーション整備地それぞれの利点や条件を踏まえて再度検討したい。
- ・ 舟下りの拠点について、現位置は施設の老朽化、バリアフリー対応や駐車場確保に課題があるため、河川防災ステーションを新しい拠点として整備したい。内川におけるカヌーやSUP等のアクティビティも行えると良い。

##### 河川防災ステーションの整備について

(主な意見)

- ・ 河川防災ステーションをまちのゲートウェイとして集客を図るため、観光情報の発信や、散策路やサイクリングロードの整備によるまちなかへの周遊促進が必要である。

## 水防センターの平常時利活用について

### (主な意見)

- ・水防センターが地域活性化の拠点となるよう、道の駅のような物産販売、観光案内、飲食提供を行う施設としたい。また、有事の避難所としての機能や日頃の町民の健康増進に寄与する温浴施設や、観光商工のための事務所機能等も備える施設としたい。必要となる床面積を確保するため3階建てを検討したい。温浴施設やレストランの運営については、ノウハウを有するテナント方式を導入したい。
- ・整備メニューおよび規模について、整備費および維持管理費が町の財政を圧迫せず、持続可能な施設運営となるよう、民間活力を取り入れながら検討したい。

## スケジュールについて

### (主な意見)

- ・施設が開業するタイミングについて、復興のシンボルとしてのPRや水辺の観光交流施設としてのハイシーズンを想定しながら、スケジュールを調整したい。

### ・事務局

次回の検討委員会は、検討部会の内容をかける形で10月頃の開催を予定する。部会の実施状況、検討内容は本委員会委員に情報共有していく。

以上